

第1学年 特別の教科 道徳 学習指導案

1 主題構成表

主題名 ともだちのきもちをおもうこころ

資料名 二わのことり (出典 光文書院)

<p>■内容項目 B—(10) 友情, 信頼 友達と仲良くし、助け合うこと</p>	<p>■価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本内容項目の目指すものは、友達関係における基本とすべきことであり、友達との間に信頼及び切磋琢磨の精神をもった児童を育てることである。 ・自分のことだけを考えがちな自己中心性を脱し、友達の気持ちを考えることの重要性に気づく。 ・相手のことを思って声をかけたり、手助けしようとしたりする思いやりの心が大切である。 ・困っている友達がいたら、手助けをし、相手が喜ぶ様子を見て、ともに喜びを味わうことや友達の頑張りに声援を送って、その成果をともに喜び合う気持ちを育てていくことが大切である。 ・身近にいる友達と一緒に、仲良く助け合い、励まし合って生活しようとする気持ちを育てていきたい。 	<p>■資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本教材は、主人公の心の葛藤を通して、友情・信頼について考えることができる教材である。 ・みそさざいは、やまがらから誕生日の招待を受けたけれども、友達が、みんな鶯の家に行くことやうぐいすの家は明るくて楽しそう、などから自分もうぐいすの家に行ってしまう心の弱さに共感することができる。 ・みそさざいは、うぐいすの家でみんなと過ごしていても、やまがらのことが気になり、楽しむことができない。やまがらのことを思ってこっそりぬけ出すまでのみそさざいの気持ちを考えさせたい。 ・やまがらの家へ行き、とても喜んでる姿を見て、自分も嬉しい気持ちになる。登場人物の心情に十分共感させることで、友達の喜びが自分の喜びにつながることに気づかせ、友達の温かさを感じ取ることができる教材である。
<p>■ねらい 友達同士は、心から相手の気持ちを受け止めて行動することが大切であることに気づき、身近にいる友達の気持ちを考え、仲良くしていこうとする心情を育てる。</p>		
<p>■展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迷いながらもうぐいすの家へ行くみそさざいに共感させ、自己を見つめさせる。さらに、やまがらのことが気になり、みんなと同じように楽しむことができない気持ちに気づかせる。 ・みそさざいが、うぐいすの家をこっそり抜け出すまでには、相手の気持ちを考えて、自分はどのようにするよいかを考えめぐらせたことに気づかせる。 ・とても喜んだやまがらを見て、来てよかったという気持ちが、心から友達の気持ちを考えて行動できた自分自身の喜びととらえて、同情やあわれみではない友情の価値を追求させる。 	<p>■基本発問 (◎中心発問)</p> <p>○友達といううれしいのは、どんな時ですか。</p> <p>○どちらへ行こうか迷っていたみそさざいが、うぐいすの家に行ったのは、どんな気持ちからでしょう。</p> <p>◎みそさざいが、うぐいすの家から、こっそり抜け出したのは、どんな気持ちからでしょう。</p> <p>○目に涙を浮かべて喜ぶやまがらを見て、みそさざいは、どんな気持ちになったでしょう。</p> <p>○「友達っていいな。」と思ったことを発表しましょう。</p>	

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>1. 資料への導入を行う。</p> <p>○ 友達といてうれしいのは どんな時ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間、一緒に遊んでいる時。 ・勉強で、わからないところを教えてもらった時。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする価値の意識づけをする。 ・主人公のペープサートを見せ、みそさざいの気持ちを中心に考えていくことをはっきりさせる。
展開	<p>2. 資料を読み、みそさざいの気持ちについて考え、交流する。</p> <p>○ どちらへ行こうか迷っていたみそさざいが、うぐいすの家へ行ったのは、どんな気持ちからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るくて楽しそうだから。 ・誕生日祝いにも行きたいけど、音楽のけいこもしたい。 ・みんなうぐいすの家に行くからぼくも行こう。 ・自分一人だけやまがらの家へ行くと何か言われそう。 <p>◎ みそさざいが、うぐいすの家から、こっそり抜け出したのは、どんな気持ちからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがらは、ひとりぼっちで寂しいだろうな。 ・ぼくが行ってあげれば喜ぶかな。 ・うぐいすの家は友達がたくさんいるから抜け出してもいいかな。 ・誕生日なのに、お祝いに行かないのはかわいそう。 ・一年に一度の誕生日だからお祝いしてあげたい。 ・やまがらは、きっとみんなが来ると思って待っている。ぼく一人でも行こう。 <p>○ 涙を浮かべて喜ぶやまがらを見て、みそさざいは、どんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅くなってごめんね。 ・こんなに喜んでくれて、やっぱり来て本当によかった。 ・やまがらさんが喜んでくれて、ぼくもううれしい。 ・やまがらさんは大切な友達だ。これからもずっと仲良くしよう。 <p>友達の気持ちを考えて、仲良くしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の絵を提示し、二わの小鳥の家の違いを視覚的に表す。 ・迷いながらも、自分にとって、楽しい方、利のある方に惹かれやすい気持ちに共感させる。 ・初めは「こっちに来てよかった。」と思っていたみそさざいがやまがらのことを思って悩んでいる気持ちを考えさせる。 <p>☆深めの発問 「うぐいすの家には、みんなもいるし、明るいし、ごちそうもあって、楽しいと思っていたんだね。そういう気持ちはなくなったの？」 「やまがらの家は、さびしくてつまらないよ。それでも行くの？」 「かわいそうだから行こうとしているのかな？」等、問いかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技を通して、やまがらとみそさざいの両方の喜びに共感させ、友達を思いやる気持ちが自分の喜びにつながることに気づかせる。 <p>友達の気持ちを考えて行動できたことにすばらしさを感じることができたか。</p>
終末	<p>3. 今までの自分を振り返り、友達とのかかわり方を考える。</p> <p>○ 「友達って、いいな」と思ったことを振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがをした時、「大丈夫。」と声をかけてくれてうれしかった。 ・給食でお汁をこぼしてしまった時、ぞうきんできれいにふいてくれてうれしかった。 ・休み時間、一人でいた時、「一緒に遊ぼう。」と誘ってくれてうれしかった。 <p>4. 教師の説話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを考えて行動した成功体験を想起させ、相手の気持ちを考えて、行動しようとする実践態度に高める。 <p>日頃の友達との関係を振り返り、相手の気持ちを考えて仲良く助け合っているという気持ちを高めることができたか。</p>

3 道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連

<場の内容とねらい>

<日常活動>

<児童の意識>

<指導・援助>

学級活動
学級目標「みんな えがお～げんきよくあいさつしよう さいごまでがんばろう ぼかぼかいっぱい1ねんせい～」を目指して取り組む。
・友達のよさを見つけ、自分に取り入れようとする。
・困っている友達を助けたり、励ましたりして仲良く活動する。

帰りの会
「よいところ見つけ」～みんなえがお～
・一日を振り返り、カード（ありがとう・がんばったね・すごいね）に書いて友達のよいところを紹介する。
学級遊び
・学級遊び係を中心に遊びを計画し、全員が楽しく遊べるように話し合っ規則を決め、友達と楽しく遊ぶことができる。

・～さんに手伝ってもらってうれしかった。ありがとう。
・～さんは、困っている〇さんを助けてあげてすごい。
・自分も進んで、友達にやさしくしたり、頑張ったりできるようにしたい。

・友達のために進んで行動できる姿を認め、価値づける。
・友達のためにできた心地よさを実感させる。
・学級のみんなで頑張っていることを学級目標と照らし合わせて、価値づける。

国語
「ゆうだち」「くじらぐも」
・お話を読んで「友達がいいな。」「友達がいるから楽しい。」という気持ちをもつ。
・くじらぐもに乗って友達と楽しく会話する様子を創造することができる。

係活動・当番活動
・呼びかけ合って活動し、困っている友達を見つけたら進んで手伝うことができる。
・みんなのために自分がやらなければならないことは、責任をもって取り組むことができる。

・みんなで楽しく遊べるように工夫しよう。
・自分勝手なことをしないようにしましょう。
・友達と仲良く遊ぶと楽しい。

・遊びを工夫することで、より楽しく活動できることを実感させる。
・ルールを守ることの大切さに気づかせる。

道徳の時間
「二わのことり」
内容項目 B- (10)
・相手の気持ちを受け止めて行動することが大切であることに気づき、身近にいる友達のことを考え、仲良くしていこうとする心情を育てる。

給食
・友達と協力して、時間内に配膳ができる。

・みんなで、分担してやると早くできる。
・忘れていたら呼びかけよう。
・みんなで力を合わせて仕事をするとえがおになれる。
・食器運びを手伝ってくれてうれしい。

・友達と助け合って活動することで、充実感が得られることに気づかせる。
・みんなのために進んで取り組むことができた姿を価値づける。

学級活動
「学級遊び」
・計画に従って、みんなで仲良く活動することができる。
「係活動」
・仲良く助け合っ、係の仕事ができる。

掃除
・進んで「もくもく掃除」に取り組むことができる。
・友達と協力して、すみずみまで掃除をすることができる。

・がんばって掃除をすると気持ちがいい。
・みんなで安全に気をつけて登下校しよう。
・途中、困ったことがあったらみんなで協力しよう。

・黙って一生懸命、掃除をする姿を紹介し、広める。
・友達とともに、安全に登下校できる姿を認める。
・友達を助けて行動できた事実を価値づける。

登下校
・安全に気をつけ、友達と仲良く登下校することができる。